
異説、ドイツ栄光の階段 兵器紹介

橘花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異説、ドイツ栄光の階段 兵器紹介

【Nコード】

N4186V

【作者名】

橘花

【あらすじ】

異説、ドイツ栄光の階段に登場する兵器を紹介します。原則、長さ等は記入しません。

ゲルマン級戦艦

ゲルマン級戦艦

60?連装50口径砲	4基		
20?連装65口径両用砲	8基		
15・?55口径高角砲	16基		
40mm連装機銃	32基		
25mm三連装機銃	24基		
20mm単装機銃	68基		
満排水量	15万2300t	基準排水量	14万3900t
速力	32ノット(機関出力	35万馬力)	
水上機	10機(偵察機4機	観測機兼戦闘攻撃機6機)	

エーベルトがノルウェー北部の秘密海軍ドックで建造した強計画一番艦。同型艦はゲルマンとアウグストウス、現在建造中のヴィルヘルム。

将来的に80?砲を装備するため、甲板には余裕を持たせた設計を

されている。 光学照準儀と観測機、目測、電子計算機を組み合わせたら、最大4万メートル先の目標でも命中させることが可能。

アーリア級空母

アーリア級空母

20?連装40口径砲

4基

12.7?55口径連装高角砲

10基

40mm連装機銃

38基

20mm単装機銃

60基

満排水量 7万3000t

基準排水量 6万4000t

速力 33ノット(24万馬力)

搭載機 165機(戦闘機53機、攻撃機53機、爆撃機53機、
偵察機兼攻撃機6機)

エーベルトの強計画の一環で建造された初の空母。エセックスをモデルに拡大させた様な感じの空母。同型艦はアーリア、ゲルビル、インゲノール、ポール。

世界一の排水量を誇る巨大空母。飛行甲板は装甲化し、38?砲で

すら跳ね返すだけの防御力を持ち、上陸支援用の20?砲まで持つ
攻守一体の空母。

アイスナー級空母

アイスナー級空母

20?連装40口径砲

4基

12.7?55口径連装高角砲

8基

40mm連装機銃

28基

25mm三連装機銃

30基

12?28連装噴進砲

8基

満排水量 3万5000t

基準排水量 2万8000t

速力 38ノット(28万馬力)

搭載機 88機(戦闘機28機

攻撃機28機

爆撃機28機

偵

察機兼攻撃機4機)

イーベルトの強計画の一環で建造された中型高速空母。これを短略小型化した量産空母も計画中。同型艦はアイスナー、バツハ、ヒンデンプルク、カイザー、シュトラッサー、ヤーデ。

38ノットと、中型空母に見合う搭載機を持つドイツ海軍空母の完成品。

?号戦車 レーベ

?号戦車 レーベ(ドイツ語でライオン)

98mm75径砲 1門

12.7mm機関銃 1門(砲塔上部)

7.92mm機関銃 3門(主砲同軸と車体前方、砲塔後部)

装甲 200~80mm 最大傾斜角50°

速度 40?(整地) エンジン 1000馬力
の高回転エンジン

32?(不整地)

イーベルトの強計画で考案された戦車。製造数を増やすため、強度と性能を落とす事無く、部品数と工程を減らす工夫が施された為、一年間に800台以上が完成させられる。武装は後半で出てくるスターリン重戦車に対応できる様に長砲身かつ強力な主砲を装備させた。

?号戦車 レオパルド

?号戦車 レオパルド

127mm50口径砲

1門

マウザー連装砲

1基(砲塔上部)

7.92mm機関銃

4門(主砲同軸、車体前方、砲塔

後部、車体後方)

装甲 220~90mm

最大傾斜角60°。

速度 58?(整地)

エンジン 1300馬力ガ

スタービンエンジン

45?(不整地)

エーベルトの強計画で考案した戦車。ガスタービンエンジンを採用し、速度と機動力を強化した重戦車。装甲も厚く、前面は122mm砲でも跳ね返す装甲厚を持つ。ドイツ軍戦車技術の集大成。

?号多砲塔戦車 カリバード

?号多砲塔戦車 カリバード

127mm35口径砲 1門

50mm34口径砲 4門

7,92mm機関銃 8門

装甲 110~30mm 最大傾斜角30°

速度 38? (整地) 1300馬力ガスタービンエンジン

25? (不整地)

乗員削減の為に自動装填装置を全ての砲に装備したドイツ軍初の本格多砲塔戦車。機甲師団指揮官や機甲部隊長が乗るため、無線機などは当時のドイツが装備する最新式の物。武装は対戦車用主砲の127mm砲と、歩兵支援用主砲の50mm砲(中戦車程度なら撃破も可能)がある。

?号戦車 レオパルド2

?号戦車 レオパルド2

140mm70口径砲

1門

マウザー連装砲

1基(砲塔上部)

7.92ミリ機銃

3門(主砲同軸、車体前方、砲

塔後部)

装甲 250mm/110mm

最大傾斜角55°

速度 68?(整地)

1600馬力ガスタービンエ

ンジン

53?(不整地)

イーベルトの考えた最終形態戦車であるレオパルドを更に改良した究極戦車。自働装填装置によって驚くべき連射性能を持ち、砲身には冷却機能を持っている。周囲を見張るセンサーを持ち、近づく歩兵を車内に知らせることが出来る。重量は最新技術を使用し、レオパルドよりも軽い。しかも、履帯カバーに特殊な空気圧縮機を使用すれば水上走行も可能と言う規格外の戦車でもある。水中も走行可能なようになっていいる。

照準は赤外線・暗視照準儀も装備しており、夜間でも戦闘が可能。操縦席には視界を広げるために車外カメラが装備されており、これも赤外線・暗視対応。その他、照準儀とは別に360°対応全周囲警戒カメラなど、実験的装備もされている。

イーベルトの指揮する第28独立機甲師団専用の重戦車で、同部隊以外の配備されていない

艦上戦闘機 B f 1 6

艦上戦闘機 B f 1 6

武装 2 0 m m 機関砲 4 門 (主翼)

7 . 7 m m 機関銃 2 門 (機首)

3 0 m m 機関砲 1 門 (プロペラ同軸)

速度 6 3 4 k m / h

航続距離 1 2 3 0 ? 1 9 2 0 ? (増漕在り)

エーベルトの海計画で設計された艦上戦闘機。敵を確実に撃墜するための 2 0 m m と、対地攻撃用の 7 . 7 m m、対装甲目標攻撃用の 3 0 m m 機関砲を備える戦闘機。

B f 1 0 9 戦闘機設計の段階で本機も同時に設計し、武装はともかく、装備は相关性を持たせた機体であることを前提にされ、B f 1 0 9 も着艦装備をすれば母艦に着艦できるようになっている。

艦上雷撃機 j u 9 5

艦上雷撃機 J u 9 5

武装 1 5 m m 機関銃 2 門（機首）

1 5 m m 連装機関銃 1 基（後部機銃）

7 . 7 m m 機関銃 2 門（偵察員席左右）

8 0 0 ? まで爆弾、魚雷を装備可能

速度 5 4 3 ? / h

航続距離 1 5 6 0 ?

イーベルトの海計画で設計された艦上雷撃機。特徴としては偵察員席に7.7mm機銃を装備している事。これは、艦上通過時に機銃員を狙い撃ちしたり、低空爆撃の時に下を狙い撃ちできるようにしている。速度は初期戦闘機並みに速く、低空時の安定性を高めるために補助翼も大きめのを採用した傑作雷撃機。

ドイツ国内情勢（前書き）

本来は兵器紹介ですが、やはり国内の状況を書くのも必要かと思
執筆しました

ドイツ国内情勢

ドイツの主な国内情勢

第一次世界大戦終結後、莫大な賠償金を課せられたドイツは必死で経済の立て直しを図った。しかし、政府の紙幣印刷は増え、紙幣に対する価値が失われた（ここら辺は史実と同様）

そんな中でヒトラーは国家社会主義ドイツ労働者党党首としてドイツ南部方面で着々と国民の支持を増やし続けた。

エーベルトは自らの立ち上げた兵器産業省は着々と兵器の生産を続け、開戦日に間に合うように増やし続けた。

ミュンヘン一揆がその後に発生。逮捕されたヒトラーに終戦後の初となるエーベルトとヒトラーの再会で、軽くだが兵器産業省の話が上る。

1930年、国家社会主義ドイツ労働者党は国会で第2党の地位を経る。32年には第1党へと上り詰めた。翌年にはヒトラーが首相に任命され、ヒンデンブルク大統領死去で、総統となった時の演説にて再軍備宣言を行う（史実では35年）。エーベルトの立ち上げた兵器産業省はドイツの表舞台へ少しずつ出始めた。

政権獲得後にヒトラーは公共事業を開始。帝国アウトバーンなどの道路建設と兵器生産を行い、失業者は600万人から20万人（史実では50万人程度）まで減少すると言う快挙を成した。国民はこ

れを、ヒトラーの奇跡と呼んで心酔する者が増えた。

35年のナチス党大会の最中にニュルンベルク法を制定され、ユダヤ人の人権を合法的に剥奪した。翌年にはラインラント進駐とベルリンオリンピックを成功させ、国民はより一層ヒトラーを支持した。

38年にエーベルトはヒトラーの下に連行され、そこで兵器産業省の生産した兵器を披露。エーベルト、ドイツ国防軍に大将として入隊。

ポーランドを僅か2日間で降伏させたドイツは着々と領土拡大を目指し、チェコ・スロバキヤ、ルーマニアやギリシャなどの東方から、ノルウエーやスウェーデンなどの北欧などを侵略・併合した。

ユダヤ人について

ヒトラーが政権獲得する前から突撃隊などが小規模ながらも攻撃を続けていたが、政権獲得後は表だって攻撃を開始。ユダヤ人商店など、多数が被害を受けた。その後、ユダヤ人は強制収容所に入れられ、人間としての扱いを受けなかった。本編では語らなかつたが、開戦後はエーベルトが強制収容所に兵器工場を併設させるように提案。現在の労働基準法である一日8時間、週40時間遵守の労働体制を布かせた。ナチス党の猛反発を一時期は受けたが、兵器生産の効率は十分で、次第に反発を受けなくなってきた。

即ち、ニュルンベルク法で剥奪された人権は少なからず戻ってきた。

生産体制

ドイツは地上での兵器生産と地下での兵器生産と言う両立生産体制を確立している。地上では爆撃などの被害で兵器生産が停止する事があるが、地下ならば余程のことが無い限り生産を続けられる。

生産体制は夜間と昼間という昼夜生産体制を確立し、生産を行っている。量産体制はライン生産方式を採用。流れ作業のお陰で生産効率は高く、しかもエーベルトの考案した強度と性能を落とす事無く部品数と工程を減らす工夫のお陰で比較的安価での生産が可能となっている。

独立陸軍について

戦争激化による将校の不足を補うために、再軍備宣言の日に合わせて特別幼年軍事学校を創設。6年間の訓練のちに独立陸軍に入隊する事を義務付けられた。大半が中学生位の少年少女。また、この時代では少年兵すらも当たり前前の時代だった。これの創設に伴って、エーベルトは独立陸軍の所属となった（階級はドイツ国防軍時代の物）。

兵器産業省

エーベルトが立ち上げた兵器研究会。第一大戦後にエーベルトがかき集めた、後世歴史で兵器生産・設計を行う人物の勉強会。兵器の設計と新技術・新兵器の開発を行う。

突撃隊について

ヒトラーが政権獲得後にユダヤ人商店を狙ってボイコットや攻撃を扇動。一部はその後、親衛隊に移動されて勢力は少しばかり下がったが、開戦と同時に民間人の軍事教練を担当。

国民突撃隊について

史実でも存在した国民突撃隊は民間の軍事組織の事だ。本土防衛の必要に駆られ、1944年に総統命令で創設された。有名なのがベルリン攻防戦での戦闘だろう。開戦と同時に突撃隊で親衛隊に行かなかったものが国民突撃隊長となり、訓練を受ける。16歳から60歳まで、軍人以外では全員の入隊が義務付けられた（工業従事者は基本的に生産を優先。）。

情報親衛隊

情報収集の専門訓練を受けた武装親衛隊員。

ハーバンベルグについて

ドイツで創設された情報機関。敵の情報収集から国内の情報など、あらゆる情報収集を行う専門機関。大帝国を目指すドイツは占領地に一つ以上の設置を義務付け、情報親衛隊将校が機関長となつてその下に情報収集の専門訓練を受けた国防軍・情報親衛隊・帝国警察情報課が配属される。

武装親衛隊

親衛隊員からヒトラーがより信頼できる人間だけで構成されたエリート親衛隊。親衛隊長と武装親衛隊長をヒムラーが兼務し、帝国警察をも束ねるドイツ国内の一大武装警察勢力。緊急時には戦場でも戦えるように訓練された正に武装親衛隊。

ゲシュタポ

ドイツの秘密警察。帝国領土の危険分子などの逮捕を行う警察組織の一つ。武装親衛隊の台頭で勢力を一時期は減ったが、武装親衛隊の大半が国外に出る様になると国内の治安維持を担う様にもなる。

軍需省

軍事関係の全ての兵器生産から新技術開発を統括する省。ヒトラーの政権獲得後に宣伝省共々設けられた。兵器産業省にお株を奪われ、現在は解体されるが、この存在がドイツの技術レベルを恐ろしいほど向上させた。

赤い鎌

ドイツ秘密結社。高い技術力と幅広い情報網からドイツ国内を陰ながら支える謎の存在。この存在が兵器の革新的進歩を可能にし、とんでもない兵器まで全てを可能にする組織。詳細は不明だが、ヒトラーとドイツの高い技術力と関係があるとの事。

?号突撃砲 シュトゥルムレオパルド

?号突撃砲 シュトゥルムレオパルド

160mm80口径砲 1門

7.92mm機関銃 4門(車体前方)

装甲 110mm/20mm 最大傾斜角 40°

速度 55?(整地) 1000馬力ガスタービンエンジン

42?(不整地)

車体前方に火力を集中した攻撃型突撃砲。性能から駆逐戦車としても十分力を発揮できる。自走砲としての運用計画が基本であるが、その強力な砲で上陸第一波として上陸し、沿岸部に備えられている機銃座を粉碎したりするのも用いられる。主砲は非常に長く、一見するとバランスの悪い印象を受けるが、戦闘能力は十分に備わっている。

超高度連絡機 RML413

超長距離高高度連絡機 RML413

速度 532? / h (高度6000m)

航続距離 2万2500?

実用上昇限度 18000m

8発の超大型連絡機。極東同盟国との極秘連絡を行うべく、ドイツの全ての航空会社が総力を結集して設計された機で、12機が就役した。その巨大さから生産性は非常に悪く、運用にも最初は幾つか問題が発生したが、無事に解決。現在は日本との極秘での連絡飛行を行っている。レーダーにも捉えにくく、発見されてもこの機の最大上昇限度まで上がって来れる連合軍機は存在しない為、戦前に唱えられたていた戦闘機不要論が現実となった機の一つでもある。高高度を飛ぶために、機内は完全に与圧されており、現在のジャンボジェット機にも負けず劣らずの装備が備えられている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4186v/>

異説、ドイツ栄光の階段 兵器紹介

2011年11月24日21時50分発行